

東北地方 1か月予報

(9月11日から10月10日までの天候見通し)

平成16年9月10日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

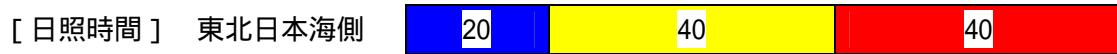
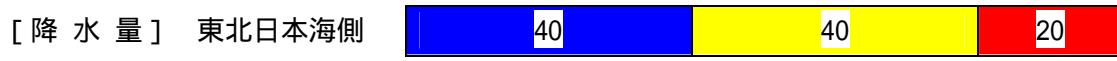
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は高い、降水量は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並が多く、東北太平洋側で平年並でしょう。

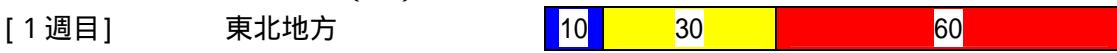
週別の気温は、1週目は高い、2週目は高い、3~4週目は平年並か高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



低い 平年並 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 9月11日(土)~10月10日(日)

1週目 : 9月11日(土)~9月17日(金)

2週目 : 9月18日(土)~9月24日(金)

3~4週目 : 9月25日(土)~10月8日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月17日

3か月予報:9月22日(水) 14時00分

寒候期予報:9月22日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	17.5	198.4	126.9	19.5	18.4	16.5
新庄	16.9	145.2	109.3	19.4	17.9	15.6
若松	17.7	118.0	116.7	20.2	18.7	16.4
深浦	17.2	160.8	152.0	19.3	18.1	16.2
青森	16.8	107.1	160.6	19.1	17.8	15.6
むつ	16.2	154.2	153.1	18.2	17.1	15.1
八戸	16.8	133.6	150.2	18.9	17.7	15.6
秋田	17.8	158.6	154.4	20.1	18.8	16.6
盛岡	16.2	128.3	133.6	18.6	17.2	14.9
宮古	16.8	204.7	132.1	18.8	17.7	15.8
酒田	18.6	169.6	146.6	20.7	19.5	17.5
山形	17.6	114.7	123.6	20.0	18.6	16.3
仙台	18.6	190.1	125.8	20.5	19.4	17.6
石巻	18.1	151.5	137.0	20.1	18.9	17.0
福島	18.8	156.6	116.3	20.9	19.6	17.7
白河	17.1	186.7	112.7	19.3	17.9	16.0
小名浜	19.6	201.3	130.5	21.5	20.3	18.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.2	85~110	92~108
東北日本海側	-0.5~+0.3	87~113	93~108
東北太平洋側	-0.4~+0.1	85~110	92~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.5	-0.6~+0.4	-0.6~+0.3
東北日本海側	-0.8~+0.5	-0.6~+0.4	-0.6~+0.4
東北太平洋側	-0.6~+0.4	-0.6~+0.5	-0.5~+0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年9月10日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(9月11日~10月10日):

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

平均気温は高いでしょう。

1週目(9月11日~9月17日):

高気圧に覆われて晴れの日が多いですが、期間の中頃は前線の影響で曇りや雨の日がある見込みです。

平均気温は高いでしょう。

2週目(9月18日~9月24日):

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

平均気温は高いでしょう。

3~4週目(9月25日~10月8日):

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

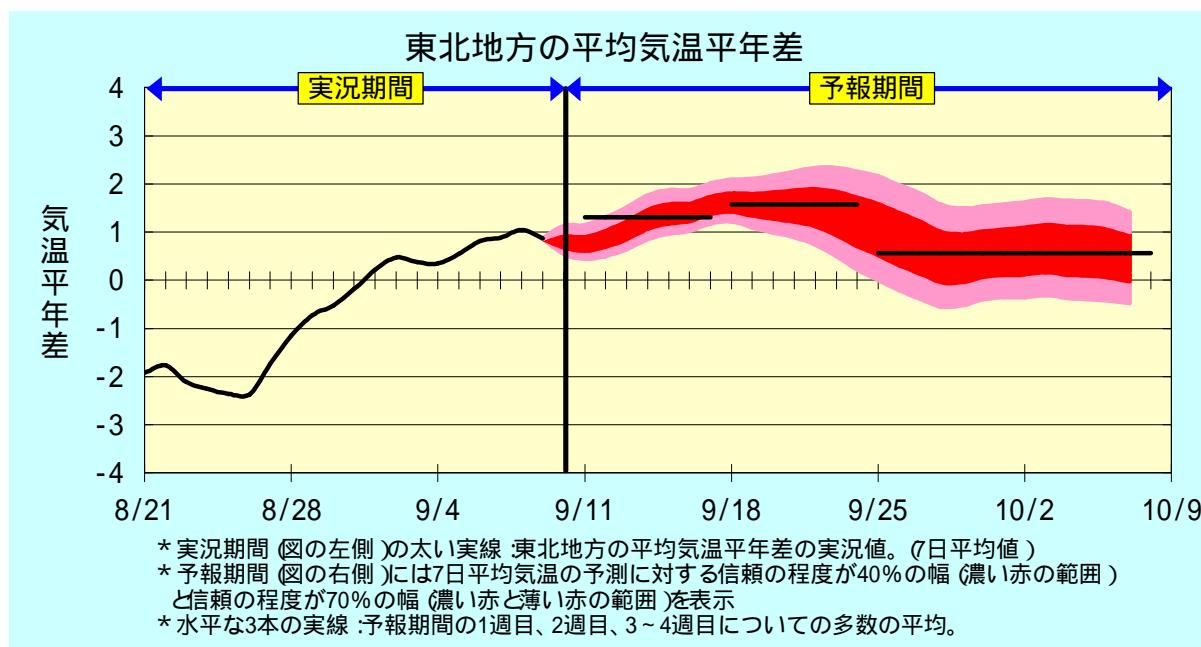
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.5日	3.3日	3.5日	6.7日
東北太平洋側	13.1日	2.8日	3.3日	7.0日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「高い」と予想している。予報は、その他の資料から、3~4週目を「平年並か高い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

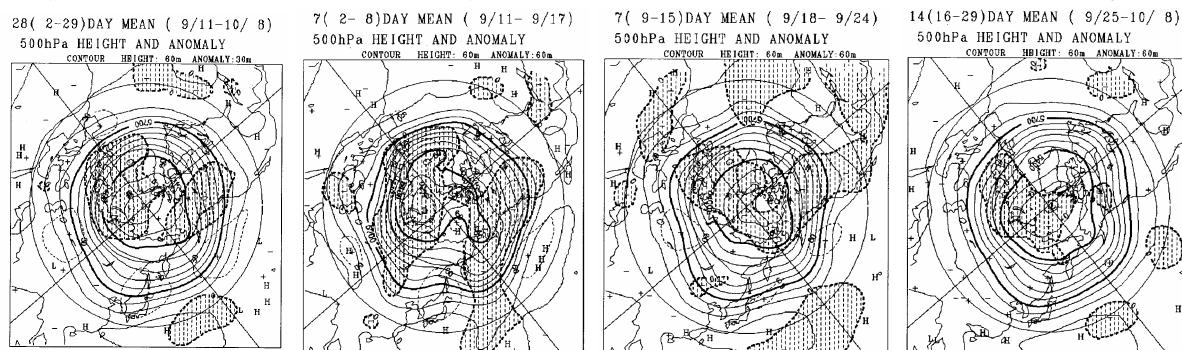


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近に中心を持つ正偏差に広く覆われる。日本の南には亜熱帯高気圧がみられる。偏西風の流れは順調で天気は数日の周期で変わる。

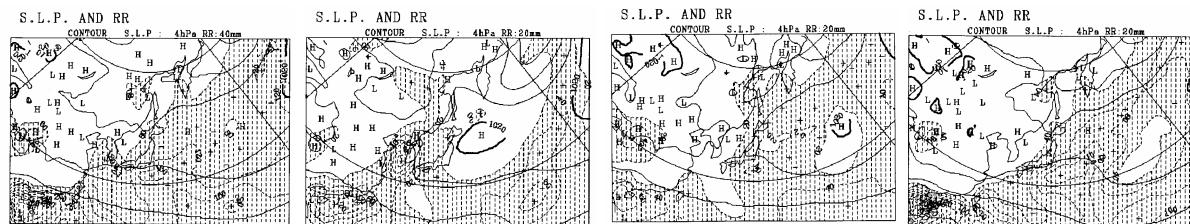
1週目は、日本付近が気圧の尾根となり亜熱帯高気圧が日本付近に張り出す。2週目、3~4週目は、日本付近は広く正偏差に覆われ、偏西風の流れは順調で天気は数日の周期で変わる。



地上気圧と降水量：

月平均では、北日本は帯状の高気圧に覆われる。天気は数日の周期で変わるが、移動性高気圧に覆われやすい。日本付近にはまとまった降水域は見られない。

1週目、2週目は、北日本は北海道の東にある高気圧に覆われ、まとまった降水域はからない。3~4週目は、月平均と同様に北日本は帯状の高気圧に覆われる。日本の南海上にはまとまった降水域が見られる。



4. 最近1週間（9月3日～9月9日）の天候の経過

期間の初めは前線が日本の南岸まで南下し、東北北部は高気圧に覆われたため概ね晴れたが、前線に近い東北南部では雷雨となるところがあった。その後は前線が東北地方まで北上して停滞したため、曇りや雨の日が続いた。特に7~8日は、台風第18号が強い勢力を維持したまま日本海を北東に進んで東北地方に接近したため各地で暴風となり、農作物などに大きな被害が発生した。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は少ない。日照時間は平年並。

